

令和7年度第3回指定管理者選定委員会会議録（要旨）

- 開催日時 令和7年10月7日（火曜日）
 13時51分 開会
 14時03分 閉会
- 開催場所 中間市役所本館4階第1委員会室
- 会議録

【事務局】

配布資料の確認。資料1「第一次審査の集計結果」、資料2「第二次審査の実施要領」、資料3「プレゼンテーション実施要領」である。

【委員長】

では、まずチャレンジショップの指定管理者の応募状況について及び第一次審査の集計結果について、所管課である商工観光課から説明をお願いしたい。

【商工観光課長補佐】

では、「1. 指定管理者の応募状況」と「2. 一次審査の集計結果」について報告する。

公募期間は、8月12日から9月12日までの1か月間であり、広報なかま及び市ホームページにより公募を行った。

応募団体は、「NPO法人中間市地域活性化協議会」と「公益財団法人中間市文化振興財団」の2団体である。

中間市公の施設における指定管理者の指定手続き等に関する条例第4条の規定に基づき、第一次審査を実施した。

管理運営方針、運営体制、事業計画、収支計画など10項目について審査した結果、「NPO法人中間市地域活性化協議会」は、600点満点中〇〇〇点を獲得し、平均では50点満点中〇〇点、率にして〇〇%の評価を得た。

「公益財団法人中間市文化振興財団」は、600点満点中〇〇〇点を獲得し、平均では50点満点中〇〇点、率にして〇〇%の評価を得た。

以上で報告を終える。

【委員長】

説明のとおり、2団体からの応募があり、いずれも基準を超える評価を得ていることから、両団体を第二次審査のプレゼンテーションに進めたいが、ご異議はないか。

【委員一同】

異議なし。

【委員長】

では、第二次審査の方法について、商工観光課から説明をお願いしたい。

【商工観光課長補佐】

第二次審査の方法について。

第二次審査は 50 点満点。採点方法はプレゼンテーションによる採点。

プレゼンテーションの時間配分は1団体につき 30 分程度とし、提案 20 分、質疑応答 10 分。

プレゼンテーションでは、サービスの向上、利用の促進、施設維持管理業務、経営効率化、その他について説明を求める。

採点は、プレゼンテーション終了後に評価表に採点し、10 月 31 日までに、商工観光課が回収する予定。

評点表の集計後、第一次審査と第二次審査の合計点が最も高い団体を優先候補者とする。

なお、同点の場合は、各委員に無記名投票をお願いする予定。

続いて、プレゼンテーションの実施要領について。

10 月 21 日午後 2 時から市役所本館 4 階の第 1 委員会室で実施する予定。

審査委員は中間市公の施設指定管理者選定委員会設置要綱に規定する 12 人。

プレゼンの時間は 20 分以内、プレゼンの順番は申請者の申請書の提出順。

プレゼンターは 3 人以内とし、指定管理の中心的な役割を果たすものが同席すること、プレゼン内容が、申請内容を逸脱しないこと、開始前には発表者の紹介を行うこと、プレゼンの形態は任意とするが、プロジェクターを使用したい場合は、事前に連絡すること。

タイムテーブルについては、下の表のとおり。

留意事項として、プレゼン内容の録音及び録画は禁止。会場への入室は、選定

委員会が入室を許可したもの以外は認めない。ただし、機材の搬入及び撤収のみに従事するものについては入室を認める。

出席者についても定められた時間以外の入室を制限する。

その他、プレゼンは非公開、プレゼン実施に関して特に連絡が必要な事項等は、プレゼンターに別途連絡する。

プレゼンに係る事項で、この要領に記載のないものなどについては、事務局の指示に従うものとする。

【委員長】

ただいまの第二次審査の実施、実施方法について意見・質問等あれば。

【委員一同】

特になし。

【委員長】

では、商工観光課の提案通り第二次審査を行うこととする。

続いて議題 3、今後の日程案について事務局から説明をお願いしたい。

【事務局】

今後の予定について。

10 月 21 日にプレゼンテーション形式による第二次審査を実施し、その後 11 月初旬の選定委員会において、最終的な候補者を決定する予定。

その後 12 月議会において指定管理者の議案を提出する。

説明は以上。

【委員長】

以上で本日の議題は全て終了した。

次回はプレゼンテーション形式による二次審査を 10 月 21 日に実施する予定。

では、これにて本日の選定委員会を閉会する。